



# アアンドバブルの余波が来ている仙台

アセットブレインズ仙台ネットワーク例会

専門家50人による資産活用コンサルタント組織「アセットブレインズ仙台ネットワーク」(仙台)



市、佐々木正之事務局長) は7月22日、例会を仙台市戦災復興記念館で開いた。

今回のテーマは「不動産証券化・最近の傾向と課題」。首都圏を軸に仙台においても不動産の証券化を「旬」なものとして捉え「ファンド バブル」が起きているという指摘を行った。

例会ではまず不動産証券化の概要を説明、仕組

みや不動産証券化の商品の種類などの説明が行われ、「最近では証券化される不動産を特定してその後

後に資金を集める資産流動化型から、最初に投資家から資金を集め、その後不動産に投資する資産運用型(金ありき)、いわゆるファンドバブルになっている」(佐々木事務局長)などと述べ、参加者は熱心に聞き入っていた。